

公益社団法人日本技術士会東北本部 岩手県支部事業活動報告

事業名	令和4年度道路研究会現場見学会（一般国道4号 水沢東バイパス工事） (CPD 番号 4-4)
委員会・研究会名	公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部道路研究会
日時	令和4年9月27日（火） 13:30～:16:00
場所	岩手県奥州市水沢
参加人数等	13人

活動内容

～水沢東バイパス工事現場見学～

1. 見学会の概要

- ・見学道路である一般国道4号は、東北地方の地域の暮らしや物流・産業の支え、社会経済の発展に重要な役割を担っている主要幹線道路です。水沢東バイパスは、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所により、交通混雑解消や交通安全の確保・沿道環境の改善等を目的に進められている事業です。今回の現場見学では、技術力向上に資することを目的として、東北地方整備局（道路部）が進めるコンクリート構造物の品質確保の取組を行っている下記2現場の見学を行い、現場が抱える課題等について情報共有し、意見交換を行いました。



一般国道4号 水沢東バイパスパンフ
(国土交通省 東北地方整備局
岩手河川国道事務所) より

2. 見学内容

(1) 館地区道路改良工事（工藤建設株式会社）

工藤建設の高橋監理技術者より、品質・耐久性確保の独自の取り組みを御紹介頂きました。コンクリートの温度管理からバイブレーター等打設方法の工夫等、かなりの力の入れようであることが伝わってきました。特に「メッキ結束線」の使用は、初めて見学出来ました。



- ・館地区道路改良工事見学
- ・バイブレーターの挿入深さと挿入時間の違いによる、仕上がりの違いを確認

(2) 西五郎兵衛地区下部工工事（高惣建設株式会社）

高惣建設の小原監理技術者より、現場が抱える課題と、課題に対する工夫等を御紹介頂きました。特に大震災以降、配筋が密となりコンクリート打設にはかなり苦勞している旨の話がありました。実際現場を見ると現実の厳しさを目の当たりにし、今後は設計時にも現場のことを考える必要性を再認識する見学会でありました。



- ・西五郎兵衛地区道路改良工事見学
- ・密な配筋により、コンクリートポンプ車からのホースを挿入するにも苦勞している状況

[文責：牧野]



(※ 活動状況の写真を貼り付けてください。)